

平成 26 年度事業計画

【事業実施期間】 平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

■事務局案

事務局長：小石川 均

- 事務局として積極的な支援体制が出来るよう、活動できる事務局体制の強化。
- 会員の継続依頼、新規会員・協力会員の開拓、更に会員の特典についても検討し、会員目標の達成を目指す。 会員目標：150名を目指す。
- ホームページの隔月更新により、各部会の活動報告と予告案内を行う。
- 会報ぽぽぽ通信を年2回の発行で、会員への情報提供の充実をはかる。
- 事務局会議の定期開催をskype会議を含めて実施し、ぽぽぽねっと全体の運営をサポートする。
- 定期収入につながる企画案を検討する。
- 一般の方からの法人の活動の閲覧要求に対応できるよう各部会の活動データを整備する。また、会則等の整備をはかる。

■部会の事業企画案

◇いのちのスープの会

部会長：西田 良春 担当理事：山田 陽子

1. 平成25年度までの実践経験を踏まえ、平成26年度もしあわせのいえで月1回の例会（作成を含む食事会）を行う。
2. 会の趣旨を踏まえ、毎回、玄米スープまたはそれに準ずるスープを用意し、必須項目として献立に取り込む。
3. がん患者向け食事等についての研鑽を目的に、外部研修参加を検討・実施する。
4. 他部会等の開催にあわせ、玄米スープの提供や資料を配布する。
5. 毎回作成した献立資料を整備し、その後は誰でも活用できるようにする。

◇ぽぽぽ聞き書きの会

部会長：清水 まゆ美 担当理事：榊原 千秋

聞き書きカフェとして1回／年（3回コース）、ぽぽぽのいえで開催する。

聞き書きカフェは、聞き書きに取り組んでいる人と関心のある人が、聞き書きとは何かを共に学び語り合うことを目的とし、聞き書きに取り組んでいる人の実践力を高めると共に、少しでも聞き書きに関心のある人が気軽に学べる場とする。また、本活動を通じて、聞き書きの普及にもつとめる。

8月に男鹿で開かれる日本聞き書き学校への参加に向けて会員案内する。

□聞き書きカフェ ①6月、②8月、③10月に開催予定

◇魂のいちばんおいしいところ

部会長：松村 朋枝 担当理事：中川 恵美

『みんな違ってみんな良い』という気持ちを持ち続けるために、「自分を大切にすること」、「自分を解放すること」を4つのテーマ（①涙を出す、②声に出す、③汗を出す、④うんち）で取り組む。

- ① 6月7日：共同企画 生きるセンス食べるセンス出すセンス(サイエンスヒルズ)
- ② 6月10日：ぽぽぽウォーク&足のセルフケア ★共同企画(ぽぽぽカフェ&保健室)
- ③ 7月12日：共同企画 ワイルドウーマン(おおかみの会 ミントレイノ)

- ④ 8月23日：暑気ばらい（特別ぽぽぽ）
- ⑤ 9月 6日：芋煮会(特別ぽぽぽ)
- ⑥ 9月 9日：ぽぽぽ満月シアター ★共同企画(ぽぽぽカフェ & 保健室)
- ⑦ 10月頃：来年度企画打ち合わせ(1)
- ⑧ 11月11日：ぽぽぽまつり(ぽぽぽ介護のイベント) ★共同企画(ぽぽぽカフェ & 保健室)
- ⑨ 12月23日：ぽぽぽクリスマス会（特別ぽぽぽ）
- ⑩ 2月頃：来年度企画打ち合わせ(2)
- ⑪ 3月10日：早春～春をさがしに～ぽぽぽウォーク ★共同企画(ぽぽぽカフェ & 保健室)
- ⑫ 3月後半頃：来年度企画最終打ち合わせ

◇障がい児・者の居場所づくり事業 部会長：中川 恵美 担当理事：中出 繁男

バリアフリーマップの作成

- 南加賀地方の施設、店舗のバリアフリー環境、関わる人の支援度を調査し、独自のバリアフリーマップを作成し、必要とする人にお知らせする。
- 石川県のバリアフリーマップとの差異を、明らかにし、訂正を要望する。
- 新規に施設建設の情報が得られれば、設備に関して、要望する。
- ハンディのある人と家族にとって、必要とする事を聞き取り調査し、まちづくりに反映させる。

◇子育て中の親子の育児支援 部会長：辻 悦子 担当理事：崎川 万樹子

子育て支援ほっとたいむ

- 孤立しがちな子育て中のお母さんの支援を行う。
- 岡田秀子のアロマセラピーと外部講師として歯科衛生士の内田佳代氏の指導による表情筋エクササイズで、子育て中の母親の心と身体のリラックスを図る。毎回崎川が軽食を準備し、辻が読み聞かせを行う。最終回は田廣指導のもとトーンチャイムの演奏会を行う。会場は松任ふるさと館・食ラボ、参加費は各回500円。

そらまめ教室（自分らしい子育て継続支援事業：小松市の委託事業）

- 小松市すこやかセンターの「自分らしい子育て講座」を修了してもなお、育児に不安や困難を抱えている親を対象に、ぽぽぽねっとが小松市から業務委託を受けて継続的な支援を行う。
- 参加者が共通の悩みや興味関心を持つ人々と出会える場となるように配慮する。地域の状況や情報を提供し、参加者同士及び専門職が知恵を出し合い、子どもの発達に応じたそれぞれの子育ての仕方を見つけられるようにする。
- 開催は毎月2回（木）10時～11時に実施し、参加者は2つのグループに分かれて、月1回の参加とする。

◇次世代育成事業 部会長：清水 愛子 担当理事：榊原 千秋

- 金沢大学聞き書きサークル「星ことば」の学生、OB等と、ぽぽぽねっとの各事業とで協働する。

○活動の幅を広げるために、保育園、小学校、中学校、高校、大学へ働きかけていく。

◇ぽぽぽ保健室&ぽぽぽカフェ 部会長：中西 雅恵 担当理事：角谷 淳子

○ぽぽぽ会員と小松市民の協働で、ぽぽぽのいえで月1～2回開催する。健康や介護相談、認知症対応等、メンバーの専門性が活かされる場をひらくことを目的とする。

○ぽぽぽねっと会員の交流の企画

食を通じて、各部会メンバー間の交流を深めて、共通理解の場とするとともに、活動の活性化につなげる。ぽぽぽねっとに関心のある方々にも参加を促し会員との交流を通じてぽぽぽねっとの活動に理解を得る機会とする。

- ・ 7月 8日 ぽぽぽ水ようかん作り
- ・ 10月14日 ぽぽぽヨガ
- ・ 12月 9日 ぽぽぽケア帽子作り（クリスマスプレゼント）
- ・ 1月13日 勝気もち作り
- ・ 2月10日 しし鍋と九谷焼きひな人形作り

○特別ぽぽぽ企画

- ・ 8月23日 ぽぽぽ暑気払い
- ・ 9月 6日 ぽぽぽ芋煮会
- ・ 12月23日 ぽぽぽクリスマス会
- ・ 4月11日 お花見会

○共同企画(魂のいちばんおいしいところ)

- ・ 6月10日 ぽぽぽウォーク&足のセルフケア
- ・ 9月 9日 ぽぽぽ満月シアター
- ・ 11月11日 ぽぽぽまつり(ぽぽぽ介護のイベント)
- ・ 3月 10日 早春～春をさがしに～ぽぽぽウォーク

◇ぽぽぽいのちの学校 部会長：鈴木 森夫 担当理事：帯刀 裕之

代理報告：榊原 千秋

○ぽぽぽ いのちの学校とは、いのちについて、健康や介護を軸にした講話と座談会を組み合わせたものとする。

○ 今年認知症の人を「ひとりの人」として理解し、地域で支援することをめざした学びと交流の場を企画し、つながりを深めていきながら、「認知症カフェ・ぽぽぽ」のオープンをめざす。

○ 具体的な活動としてはぽぽぽねっとの会員に講師を依頼し、座談会を組み合わせることで、まちの人々の想いを伺い、住民のニーズを把握する機会としてぽぽぽねっとの今後の活動にも活かせる場とする。

○ 1回/月、ぽぽぽのいえや地区公民館を会場に開催する。

今後の予定

①特別企画案

■講演会の開催 6月4日午後7時～9時 ぽぽぽのいえ 参加費1,000円

「よくわかる『死生観と日本的スピリティチュアルケア』」

講師：東北大学大学院准教授 谷山洋三先生

■爆笑劇団「どすこいぼぼぽ」の出前講座を地域で開催する。

※ 9月7日(日) 15:00~16:00 白江町公民館 「白江町敬老会」

②地域で認知症の人の支援を行っている人や事業所、団体の方を講師に、学習会を開催する。 ※ 犬丸公民館の地域サロン

■学習会企画内容

「ぼぼぽのいえ」を会場に、膝を付き合わせたかたちで行い、平日、19:00~20:30、参加費(500円)を徴収し、軽食(アルコイッポのおにぎりとスープ)を提供する。

■学習会計画案

- 1、当事者(認知症のご本人や家族)からお話を聞く会
- 2、グループホームでの暮らし、専門医からのお話、「認知症の人と家族の会」の活動紹介
- 3、認知症の人を地域で支えている事例の紹介、その人らしさを理解するための「聞き書き講座」など

●資料3

報告：小石川事務局長・西田事務局次長

それぞれの活動の充実に伴って、平成26年度の取り組みの中で、金沢を中心として活動していた「ほくりく聞き書きの会」、「金沢マギー」、「金沢がん哲学外来」がぼぼぽねっとから発展的に巣立ち、それぞれ自立した団体として活動する事になった。巣立っていく各団体とは今後とも連携した活動を行って、それぞれが補いあって活動の充実を目指していきたい。平成26年度の主な収入としては会員目標数150名による会費収入が中心である。

平成25年度に続き「いのちのスープの会」、「子育て支援」では参加費を徴収し、運営をしていく。また、新たに「ぼぼぽ聞き書きの会」、「ぼぼぽ保健室&ぼぼぽカフェ」、「いのちの学校」の取り組みでも参加費を徴収して取り組み、将来的には黒字を目指したい。

新規の部会の新設にともなって部会相互の連携強化により、ぼぼぽねっと全体の盛り上がりを目指し、部会長会議を定期開催する。そのための部会運営の内部規約(別途、資料参照)を定める。

支出としては、事務局経費としてホームページの定期修正費と部会の独立に伴う再整備費、「障がい児・者の居場所づくり事業」でのバリアフリーマップづくりのための会議費を計上した。

昨年度からぼぼぽのいえで取り組んだ「こころのオープンカフェ」は「ぼぼぽ保健室&ぼぼぽカフェ」へと発展させて充実を目指す。今年度もぼぼぽのいえの維持管理料は法人全体としては大きな支出割合を占めているが、活動の拠点としての大きな役割が明快になってきている。新たなる目標としては、ぼぼぽのいえを活用した新たな取り組み「ぼぼぽ聞き書きの会」、「ぼぼぽ保健室&ぼぼぽカフェ」、「ぼぼぽいのちの学校」の充実を通して会員増につなげたい。

平成26年度の予算(別途資料参照)は事業収入2,247,770円、事業費用2,247,770円とし、赤字脱却を目指す。更に、今後とも収益増を目指した取り組みで、法人全体の収益の向上と各部会の活動の発展を支えられるよう事務局体制の充実を目指す。